

OECD首長総会への参加

OECD Champion Mayors for Inclusive Growth

5月26、27、28日、サイドイベントを経て経済協力開発機構（OECD）の国際連携組織「チャンピオン・メイヤーズ」のOECD首長総会がフランスパリ市においてオンラインで行われ、遠藤智町長が世界に向けて東日本大震災からの福島広野の復興状況についてメッセージを送り、世界各国の首長に東日本大震災からの復興に向けた支援への感謝を伝えました。

席上では、コロナ禍で影響を受けた若い世代への支援などをまとめたOECD首長共同文書が採択されました。



5月28日 OECD首長総会 午後7時～午後10時（日本時間）

OECDチャンピオン・メイヤーズ第5回会議における 遠藤町長ビデオメッセージ

日本国福島県広野町長の遠藤智でございます。

広野町は、福島第一原子力発電所から20キロの距離にあり、2011年3月の東日本大震災・原子力事故に遭遇し、福島県双葉郡8町村7万3千名は、全町村避難を余儀なくされました。

国際社会からご厚情を賜り、復興のための除染、インフラ環境整備を行い、当町は、「広野町ゼロカーボンシティ宣言」をいたし、9割の町民の帰還を捉え、みなし居住率は150%、廃炉従事者と避難生活者との7千名の安全安心な“共生のまちづくり”に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症への対策は、国の指針に基づき“新しい生活様式”を取り入れ、2021年3月よりワクチン接種に着手し、双葉地方は、復興・廃炉作業従事者1万人が参集しており、居住滞在者全体の感染者は20人程度に留まっております。

町は、「誰一人取り残さない」という「包摂的成長」の理念において、「人にやさしいまちづくり条例」を制定し、誹謗中傷や偏見に基づく差別的な言動を防ぎ、お互いがリスペクトする社会創出に取り組んでいます。

コロナ禍で経済的に困窮している大学生やひとり親世帯に対しては、大学生への奨学資金貸与、ひとり親世帯への臨時特別給付金、各種就学援助支援に取り組んでいます。

2021年3月、東京オリンピックの聖火リレーが、復興のシンボルである当町に立地するJヴィレッジからグランドスタートしました。

新型コロナウイルス感染症の万全な対策を講じ、「復興ありがとうホストタウン」として、東京五輪での選手の活躍を応援し、国際機関と連携し、スポーツ交流を通じ、広く文化交流に取り組み、多くの御支援に対する感謝の意を世界の方々にお伝えし、福島復興・創生に向けて躍進する元気な姿を届けてまいります。

令和3年第2回広野町議会定例会議案

議案第39号	広野町議会議員及び広野町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について
議案第40号	広野町子どもの権利条例の制定について
議案第41号	広野町税特別措置条例の一部を改正する条例
議案第42号	広野町復興産業集積区域における町税の特例に関する条例の一部を改正する条例
議案第43号	広野町手数料徴収条例の一部を改正する条例
議案第44号	広野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
議案第45号	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に対する国民健康保険税等の減免に関する条例の一部を改正する条例
議案第46号	工事請負契約の締結について（東町仮置場原形復旧工事）
議案第47号	工事請負契約の締結について（折木地区土砂採取区域災害対策工事）
議案第48号	令和3年度広野町一般会計補正予算（第2号）
議案第49号	令和3年度広野町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
議案第50号	令和3年度広野町土地開発事業特別会計補正予算（第1号）
議案第51号	令和3年度広野町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
議案第52号	令和3年度広野町介護保険特別会計補正予算（第1号）

建設課

3月から5月にかけては、令和元年の台風19号及び21号に伴う豪雨により発生した被災箇所が災害復旧に重点を置き取り組みました。災害復旧工事の進捗については、国・県と連携のもと、事業者、関係機関の協力に

より全体の約8割の箇所について復旧が完了しました。継続して早期完了に向けて全力で取り組めます。

県管理河川である浅見川の河川改良復旧工事については令和3年3月に着手し令和3年度内に工事を完了いたします。

6月6日、浅見川、折木川、北迫川流域全体の良好な河川環境の保全と再生を積極的に推進するとともに、河川愛護意識の醸成を図ることを目的に、広野町クリーンアップ作戦を実施しま

教育委員会

4月6日、広野小学校・広野中学校において入学式が行われ、小学校25名の児童、中学校



河川環境の保全を目的に行われたクリーンアップ作戦の様子

した。当日は520名の町民、各種団体、企業の方々が参加し、町内の美化活動に汗を流しました。



10年ぶりに県内で行われたJFAアカデミー福島の入学式

33名の生徒が新一年生として入学しました。小学校の全児童数は167名、中学校の全生徒数は84名となっております。

同日、10年ぶりとなるJFAアカデミー福島の入学式がJヴィレッジにおいて行われ、第16期生となる男子19名が入学しました。

生涯学習課

4月8日、華道教室を始め、6つの教室が順次、開講しました。町内在住及び在勤の方を対象に、参加者同士で交流を深めるなど、地域コミュニティの場としても大きな役割を果たしていることから、今後とも生涯学習環境の整備に取り組んでいきます。

ついて訓練を行いました。

5月15日、広野小学校の運動会が、2年ぶりに開催されました。青空の下、児童たちは、「仲間を信じ、自分を信じ、流したあせは、金メダル」をスローガンに、練習の成果をしっかりと出し切り、最後まで頑張りました。保護者・家族の来場は、家庭2名までとし、大声を出しての応援を控えていただくなどの新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの開催となりましたが、思い出に残る大変貴重な一日を過ごすことができました。

5月19日、「自転車安全利用月間」における取組みとして、双葉警察署をはじめとする各種団体と連携し、町内3か所において広野中学校の自転車通学生徒に対する立哨活動をし、交通安全の啓発活動を行いました。